



■ 事業本部の方針

事業環境について、ロシア・ウクライナ情勢によるトレードパターンの変化や、中東情勢によるスエズ運河迂回、渾水によるパナマ運河迂回、船価高騰により、短中期的に見て船腹供給が需要を大きく超過する可能性は低いと予想しています。

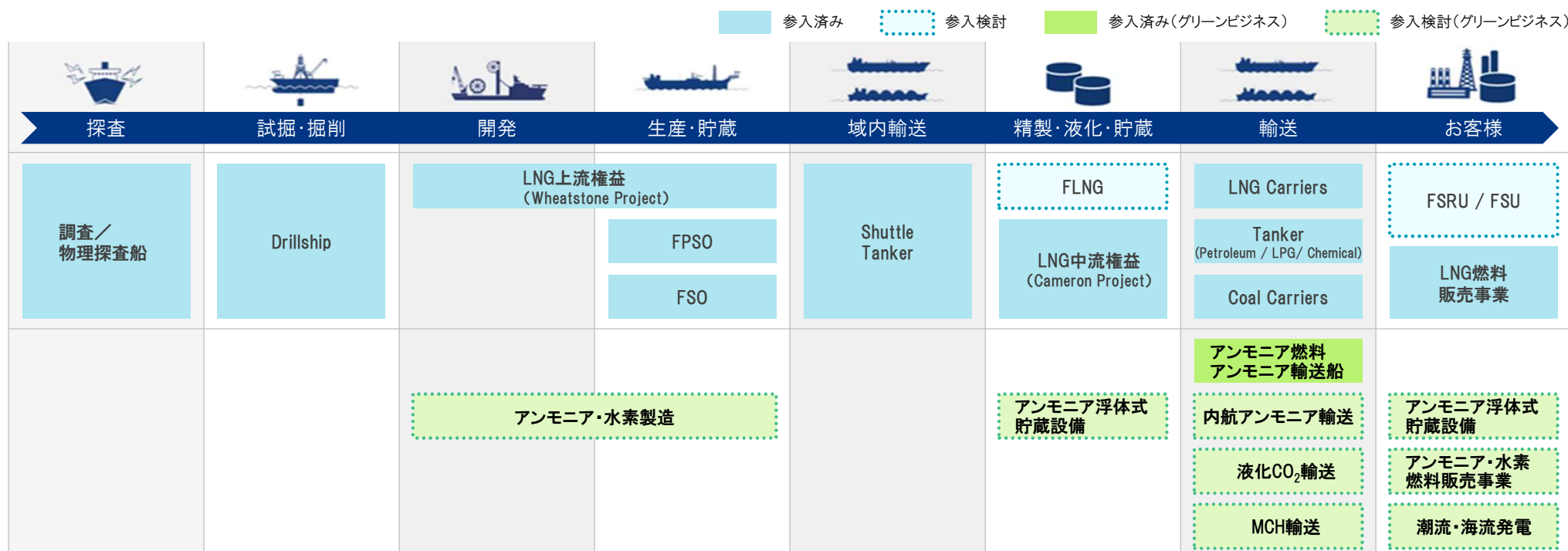
既存事業について、引き続き需要の大きいLNGのほか、原油以上に需要が高まるLPGやケミカルを重点領域として、安定的な収益を引き続き積み上げる方針です。

原油や石炭は、低炭素での輸送という形で需要に対応していきます。

新規事業について、洋上風力発電関連事業、アンモニア関連事業、CO₂輸送事業に焦点を当てています。洋上風力発電関連事業は主に国内での取り組みがメインですが、同時にM&Aなども視野に、海外での取り組みも検討していきます。

アンモニア関連事業は、石炭輸送に代わる事業としてアンモニア輸送事業を育て、将来的にはアンモニアの生産から輸送、供給まで一連のバリューチェーンの構築を目指します。

CO₂輸送については、CO₂回収・貯留技術において当社グループが保有する特許も活かし、商用化を進めていきます。



洋上風力発電関連事業における当社グループのサービススコープ

■ 既存事業 ■ 新規参入 / 検討領域



探査・FS

マリンコンサル

輸送・物流



モジュール船/重量物船

部品輸送
サプライチェーンソリューション提供

設置・据付



海域管理

Self-Elevating Platform (SEP船)

ケーブル敷設線

部品輸送
サプライチェーンソリューション提供

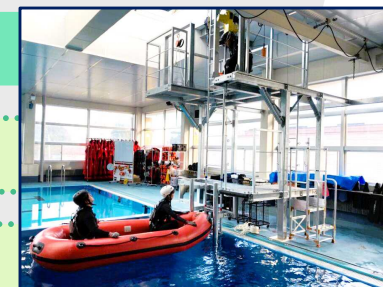
Crew Transfer Vessel (CTV)

洋上風力の総合訓練センター

Service Operation Vessel (SOV)

発電事業への出資・参画

運転・保守



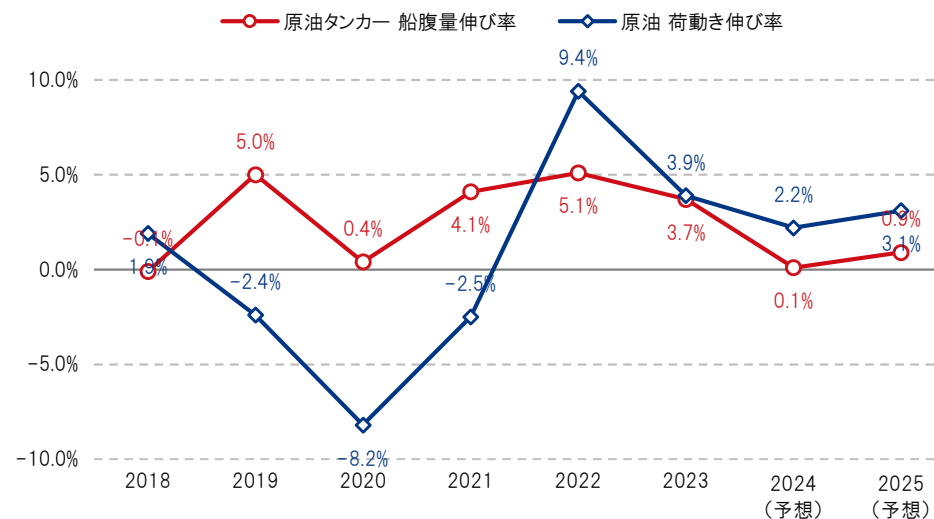
原油タンカー 船隊ランキング

(2024年1月1日現在)

ランキング	会社名	重量トン(千DWT)	隻数
1	China COSCO Shipping	20,820	151
2	China Merchants	19,036	113
3	Fredriksen Group	17,653	89
4	Angelicoussis Group	14,711	54
5	Bahri	13,667	75
6	Nat Iranian Tanker	13,495	53
7	Euronav NV	13,140	53
8	Dynacom	11,360	66
9	Sinokor Merchant	10,940	98
10	商船三井	10,193	106
11	Petronas	9,259	56
12	SCF Group	8,963	97
13	International Seaways	8,806	73
14	Thenamaris	7,682	52
15	DHT Holdings	7,475	24
16	日本郵船	7,458	30

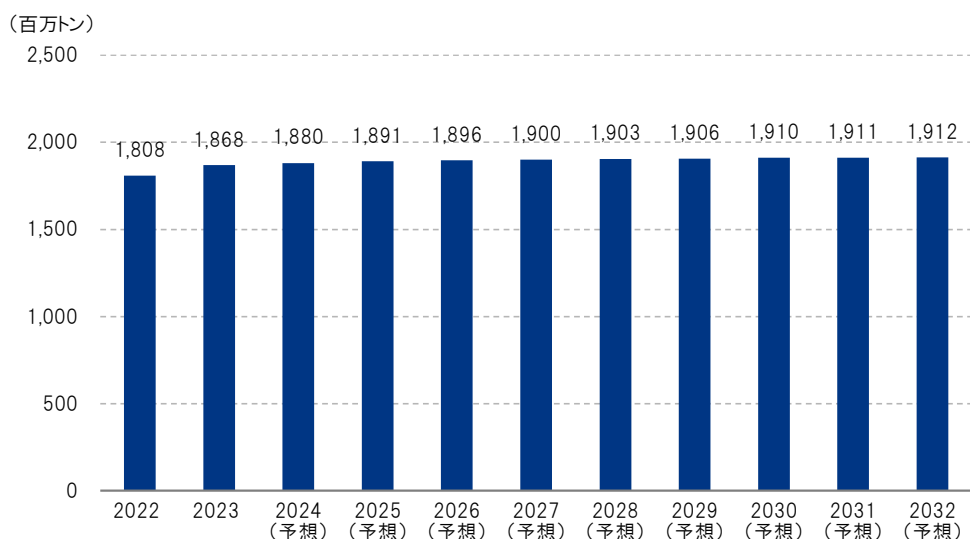
出所:Clarksonデータベースより日本郵船にて作成

原油荷動き量・船腹量伸び率推移



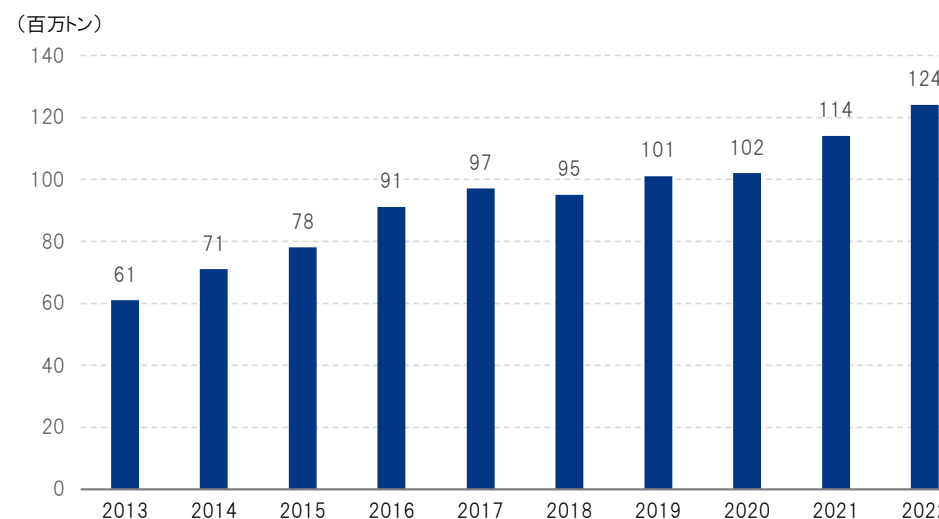
出所:Clarksons Oil & Tanker Trades Outlook (May, 2024) より日本郵船にて作成

原油海上荷動き量と見通し



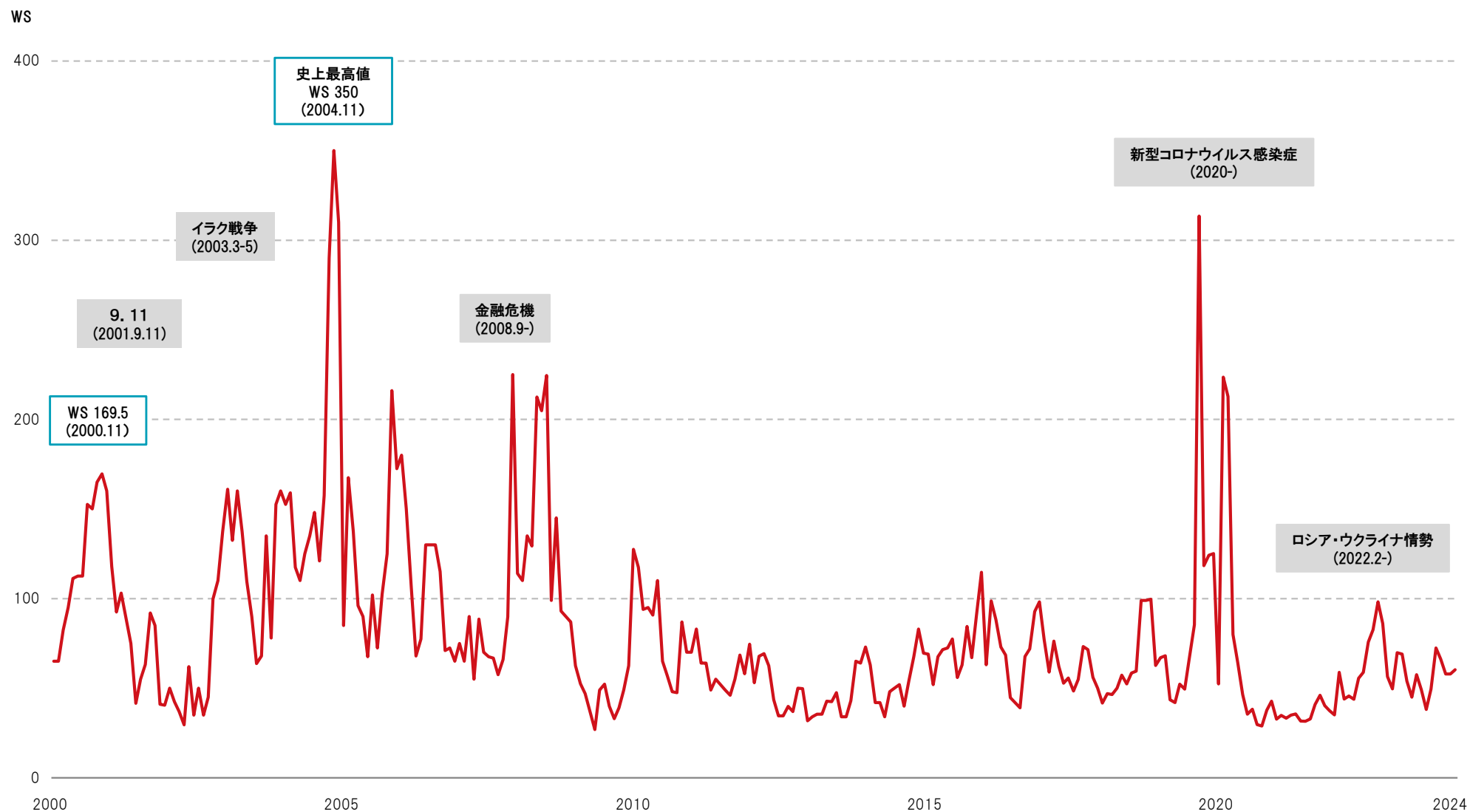
出所:各種資料により日本郵船にて推計

LPGの海上荷動き量



出所:各種資料により日本郵船にて推計

タンカー市況(WS)推移: VLCC 中東積み極東向け



WS: World Scaleの略称。原油タンカーの運賃指標

LNG船関与隻数比較

(2024年3月末時点)

会社名	隻数
商船三井	97
日本郵船	91
Nakilat	69
川崎汽船	46
Maran Gas Maritime Inc.	45
Sea Peak	44
GasLog Ltd.	34
MISC	31
Knutsen	28
BW	26
China LNG Shipping (Holdings) Limited	22
MITSUI & CO., LTD	16
Flex LNG Ltd.	13

出所:各社HPを参考に日本郵船集計

備考:LNG船は複数の会社で共有されるケースが多くあります。

隻数については共有持分にかかわらず、1隻として数えています。

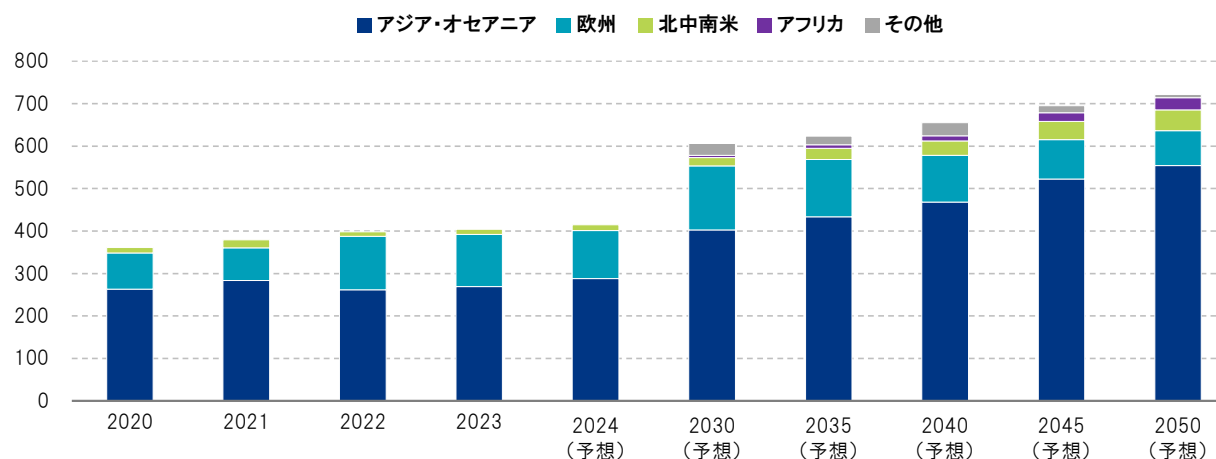
また、保有隻数に加え、船舶管理を行っている隻数も含まれています。

プレスリリース

年月	リリース内容
2024年 1月	JERAと長期定期傭船契約を締結
2023年 12月	中国・SINOPECグループ向け 定期傭船契約を締結
5月	独エネルギー大手・EnBW社と4隻の定期傭船契約を締結
2022年 11月	カタール国営エネルギー会社・QatarEnergy向け 5隻の長期定期傭船契約・造船契約締結
9月	大阪ガスインターナショナルトランスポート社と定期傭船契約を締結
9月	九電グループと定期傭船契約を締結
8月	カタール国営エネルギー会社・QatarEnergy向け 7隻の長期定期傭船契約・造船契約を締結
5月	仏・EDFグループと定期傭船契約を締結
5月	中国・CNOOCグループ向け 6隻の長期定期傭船契約を締結
1月	仏・EDFグループと定期傭船契約を締結
2021年 12月	インド・GAIL社と定期傭船契約を締結
10月	ロシア・Novatek社向け 4隻の長期定期傭船契約を締結
2020年 8月	米国キャメロンLNGプロジェクト第3系列の商業運転開始

LNG 取引量と需要見通し

(百万トン)



出所:S&P Global Commodity Insights「LNG Supply Demand Gap (Jan, 2024)」を参考に日本郵船にて作成

LNG供給国の変化

2023年LNG 輸出国ランク(mtpa)

順位	国名	mtpa	シェア (%)
1	アメリカ合衆国	85.9	21.2
2	カタール	79.8	19.7
3	オーストラリア	79.7	19.7
4	ロシア	31.3	7.7
5	マレーシア	26.8	6.6
6	インドネシア	15.6	3.9
7	アルジェリア	13.2	3.3
8	ナイジェリア	13.1	3.2
9	オマーン	11.4	2.8
10	パプアニューギニア	8.2	2.0
11	トリニダード・トバゴ	8.1	2.0
12	アラブ首長国連邦	5.0	1.2
13	ブルネイ	4.5	1.1
14	ノルウェー	4.3	1.1
15	アンゴラ	3.8	1.0
世界総輸出货量		404.9	

2050年LNG 輸出国ランク(mtpa)(予想)

順位	国名	mtpa	シェア (%)
1	アメリカ合衆国	212.1	29.5
2	カタール	124.2	17.3
3	ロシア	99.1	13.8
4	オーストラリア	72.9	10.1
5	カナダ	38.0	5.3
6	モザンビーク	35.1	4.9
7	ナイジェリア	25.0	3.5
8	アラブ首長国連邦	14.5	2.0
9	タンザニア	14.1	2.0
10	インドネシア	13.3	1.9
11	メキシコ	10.2	1.4
12	モーリタニア	9.4	1.3
13	セネガル	9.4	1.3
14	マレーシア	9.1	1.3
15	パプアニューギニア	8.3	1.2
世界総輸出货量		719.8	

出所:S&P Global Commodity Insights「LNG Supply Demand Gap (Jan, 2024)」を参考に日本郵船にて作成